



熊本大学病院



出前研修 HIV/AIDSについて

HIV支援チーム
(医師、看護師、薬剤師、MSW等)が
ご希望の日時、場所にうかがいます。

★HIV/AIDSについて
少し考えてみませんか？

内容

- ★HIV/AIDSの基礎知識・感染対策
- ★HIV/AIDS患者への支援
- ★フライバシー・セクシャリティーへの配慮
- ★HIV/AIDSの現状について



※研修日時、場所、研修時間など
ご希望に合わせてます。



お申し込み・お問い合わせ

熊本大学病院

地域医療連携センター

TEL : 096-373-5701・5934

FAX : 096-373-5720

熊本県内医療機関・事業所の皆様



「HIV/AIDS」について出前研修のお願い

熊本大学病院
日本エイズ学会認定HIV感染症看護師
高木 雅敏

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素よりご支援頂き、心より厚く御礼申し上げます。

昨今、HIV感染者は、治療の発展により、長期存命が可能になり、療養の長期化、高齢化が進んでおります。また、HIV感染者は非感染者に比べ、合併症有病率が高いことが明らかになっており、非感染者より10歳以上老化が早いと考えられております。特に生活習慣病や悪性新生物の罹患率は高いと言われています。そのため、生活習慣病や悪性新生物に罹患したHIV感染者が地域で暮らしていくために、地域の医療機関や施設での受け入れをお願いしていることが増えている現状です。しかし、地域で暮らしていく際に、未だにHIVに対する社会の誤解・偏見が色濃く残り、その中で患者が不安な思いをしながら生活をしていることも事実です。

当院は、熊本県のHIV/AIDS診療中核拠点病院として、県内におけるHIV/AIDS医療提供体制の再構築を重点的かつ計画的に図る役割を担っております。中でもHIV/AIDS医療に対する研修や医療情報の提供も実施していかなければなりません。そのため、今後、HIV感染者の方々を地域で受け入れていただくために、医療機関や施設にHIV支援チーム(医師、看護師、薬剤師、MSW)が伺い、HIVに関する勉強会を出前研修として開催させていただいております。内容としてはHIV/AIDSの基礎知識・感染対策について、HIV/AIDS患者への支援、プライバシー・セクシャリティへの配慮、HIV/AIDSの現状についてです。

現在、当院に通院しているHIV/AIDS患者は県内の様々な地域から受診されています。県内全域にHIV感染者の方がおられるため、今後、地域で受け入れてもらう際に皆様にお力添えをお願いすることがあると思っております。まずは、受け入れの可否に関わらず、医療機関や施設等の研修会として、HIV支援チームの参加をお願いできればと思っております。

治療の進歩により慢性疾患として位置づけられるようになったHIV/AIDS患者を支援していく上で、拠点病院だけでの支援は困難となり、地域との連携は不可欠になってきました。

どうぞ、今後のHIV/AIDS患者支援の充実のためにも皆様の地域における勉強会や研修会へのHIV支援チームの参加を是非、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

【出前研修 お申し込み・お問い合わせ先】

熊本大学病院 地域医療連携センター

[TEL:096-373-5701](tel:096-373-5701)・5934

FAX:096-373-5720